

Q 会報誌『近江路』はどのような内容ですか…？

A 昭和38年に1-2号が刊行された記録はありますが実在せず「幻の近江路」となり、実質の近江路は昭和47年に創刊され、以後、年2回刊がほぼ堅持され現在(96号)に至ります。当初はB5サイズ6ポイントで今では考えられない小さい文字でした。78号(H25)からカラー版グラビア調に変わり、「内容の充実」「配布先の拡大」を目標に64頁の仕様になっています。印刷の関係上64頁がMaxですが、今後は当会創立70年に向かって、更なる内容のバージョンアップと滋賀県下へのくまなき配布を目指します。「会報誌で会の評価が決まる」と言われますが、培われた先人の偉業を次世代に伝えるのも『近江路の使命』だと思います。

【86号から掲載】

■紹介シリーズ

- 86号 マザーレイク
- 87号 滋賀レイクスターズ
- 88号 侍文麻呂の芸能話
- 89号 花様 ka-you 近江の味
- 90号 HOTEL 講大津百町
- 91号 花菩薩・久安寺
- 92号 近江商人魂世界に紹介
- 94号 布引焼窯元
- 96号 夢ふおと・アルバムセラピー

【85号から掲載】

■会社訪問

- 85号 ヤンマー株式会社
〔現・ヤンマーグローバルエキスパート(株)〕
- 87号 株式会社坪内美容院
- 88号 丸山塗装工業株式会社
- 89号 株式会社天彦産業
- 90号 (株)木の家専門店谷口工務店
- 91号 パイン株式会社
- 92号 法善寺あられ…(株)ふじや

【89号から掲載】

■近江商人のふるさと探訪

当会とコラボのNPO法人三方よし研究所専務理事・岩根順子氏に執筆依頼。
〔現在96号、第7回掲載中〕

■ふるさと応援ページ〔ふるさと納税〕

「ふるさとのお役に立とう…」と、滋賀県・13市・6町の『ふるさと納税』を中心とした継続的応援ページ開設。
〔現在96号、第8回目掲載中〕

■ナンプレクイズ

身近な会報誌の遊び心で『ナンプレ・クイズ』採用。〔現在96号、第8回掲載〕

【90号から掲載】

■書芸アーティスト佐々木鐵仙の世界

篆刻・書・水墨画・詩文・俳諧と書法表現の書芸アーティスト故佐々木鐵仙氏の作品掲載。特に川端康成作品は、『佐々木鐵仙川端文学を書く』項目で近江路94号から掲載。〔現在96号、第7回掲載〕

■近江路かわら版

半期ずつの県人会に関わる公私のニュースや情報を『近江路かわら版』として順次掲載。

■県人会行事カレンダー

2019年から当会行事カレンダーが発行さ

【93号から掲載】

■大阪滋賀県人会若手塾

2020年4月、当会若者による『大阪滋賀県人会・若手塾』発足により、コーナー掲載。

内容の充実

【83号から掲載】

■近江商人と三方よし

近江商人研究第一人者、末永國紀同志社大学名誉教授著書『近江商人と三方よし』のダイジェスト版として掲載。〔現在96号、第14回掲載〕

■TOWN・TOPICS

- 83号 彦根市／高島市
- 84号 甲賀市／
- 85号 長浜市／豊郷町
- 86号 草津市／竜王町
- 87号 東近江市／愛荘町
- 88号 米原市／日野町
- 89号 守山市／栗東市
- 90号 野洲市／多賀町
- 91号 湖南市／甲良町
- 92号 近江八幡市／
- 94号 大津市／豊郷町
- 95号 長浜市／草津市
- 96号 米原市／竜王町

【88号から掲載】

■滋賀県だより

- 88号 ここ滋賀 オープン
- 89号 虹色の旅へ。滋賀・びわ湖
- 90号 ピワイチ物語
- 91号 大阪から滋賀へ行こう！
- 92号 令和の滋賀は戦国がおもしろい
- 93号 お城 EXPO in 滋賀・びわ湖
- 94号 今こそ滋賀を旅しよう！
- 95号 BIWAICHI 滋賀の魅力を再発見
- 96号 彦根城世界遺産・冬の日本遺産

【91号から掲載】

■近江路城郭めぐり

城ブームにさきがけ、中井均滋賀県立大学名誉教授共著書『近江の山城を歩く70』『近江の山城ベスト50を歩く』のダイジェスト版として掲載。

- 91号 賤ヶ岳砦・安土城
- 92号 彦根城・土山城
- 93号 坂本城と宇佐山城・小谷城
- 94号 観音寺城・横山城・水口岡山城
- 95号 鎌刃城・玄蕃尾城・膳所城
- 96号 行市山城・堂木山城・東野山城

■昭和30年代湖国暮らしの表情

写真家故浅岡利三郎氏が撮られた『昭和30年代の湖国・暮らしの表情』写真約8千点より随時掲載。
〔沖島特集を含め現在96号、第6回掲載〕

ONNAJI HISTORY

【78号から掲載】

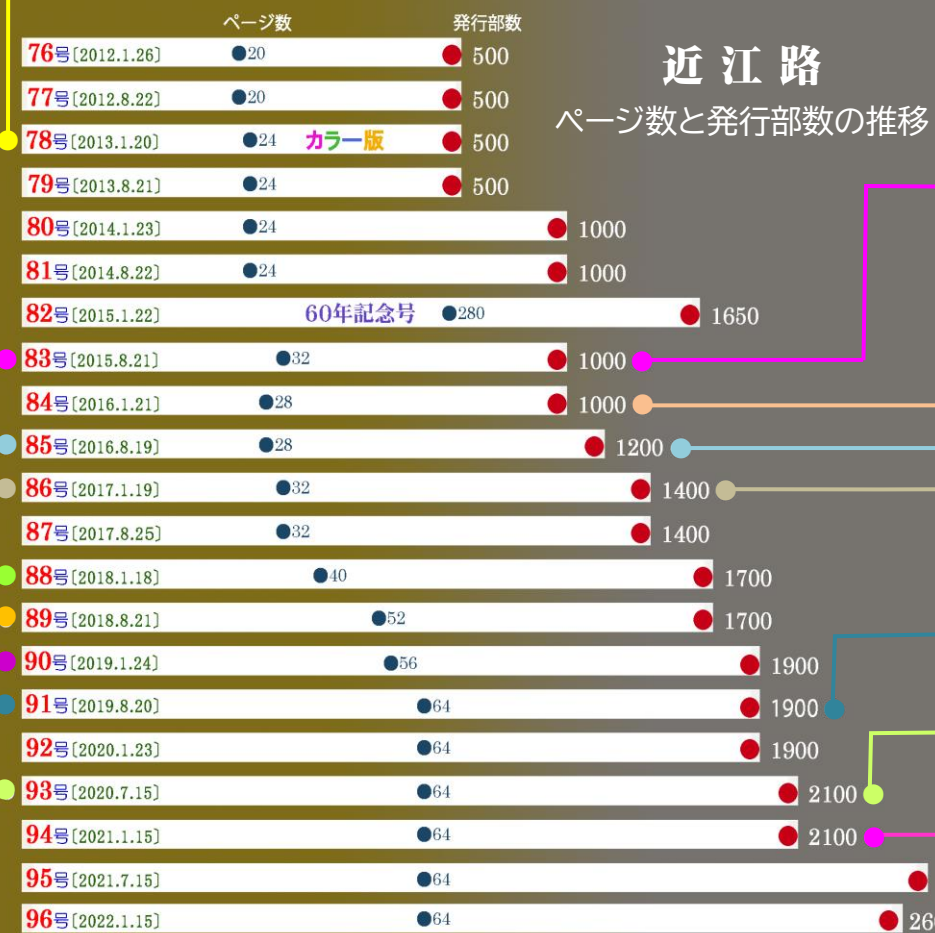
■近江路探訪

- 78号 ① 松尾芭蕉
- 79号 ② 中江藤樹
- 80号 ③ 杉浦重剛
- 81号 ④ 雨森芳洲
- 82号 ⑤ 森川許六
- 83号 ⑥ 井伊直孝
- 84号 ⑦ 北村季吟
- 85号 ⑧ 細川雄太郎
- 86号 ⑨ 小口太郎
- 87号 ⑩ 遠藤謙道
- 88号 ⑪ 西澤真蔵
- 89号 ⑫ 佐々木道善
- 90号 ⑬ 海北友松
- 91号 ⑭ 万里集九
- 92号 ⑮ 山崎宗鑑
- 93号 ⑯ 伴 蒿溪
- 94号 ⑰ 六如慈周
- 95号 ⑱ 靈仙三蔵
- 96号 ⑲ 日下部鳴鶴

■近江路ひと言葉

- ① 明日の朝、一番機で出撃します
- ② 水切り
- ③ お花見のお話
- ④ 腹六分目
- ⑤ 家庭の立ち行き
- ⑥ 逞しい草魂
- ⑦ 喜び
- ⑧ 足るを知る難しさ
- ⑨ 和を以て貴しと為す
- ⑩ 人に愛されるほど強いものはない
- ⑪ 名前を覚えよう
- ⑫ 琵琶湖畔の桜
- ⑬ 家庭の平和
- ⑭ 新年号令和と大阪滋賀県人会
- ⑮ 自然から学ぶ生き方
- ⑯ 新型コロナウイルスが教えるもの
- ⑰ どうなる…？東京五輪
- ⑱ 今になって分かる、先生の真心
- ⑲ 世界を包んだ『歓喜の歌』

滋賀県下へくまなき配布を目指して



会誌…「近江路」発刊のことば



創刊号 (S47年 B5サイズ)

昭和31年、大阪本町船場を中心として「大阪滋賀県人会」が発足してすでに17年。当初は、ふるさと滋賀の名物「江州音頭盆踊り」の大会を大阪でも開催しようという目的で発足したもので、この盆踊り大会もこれまで16回の実績を重ね、いまでは大阪の夏の夜の風物詩のひとつとして広く知られるようになってきました。

しかし最近に至り、本県人会の行事、活動の範囲をさらに広げ、会員相互の親睦をより高めようという声が会員間に強く起り、本会でもその一環として、昨年度は郷土の名産頒布会、観光バスツアー、ゴルフ会などを催してきましたが、本年からこれらに加えて、会誌「近江路」を発行することになりました。当面は年2回(1月・7月)発行の予定ですが、会員間のよき架け橋となれば幸いです。次号からは内容もさらに充実させたいと思っていますので、随筆、紀行文、お国自慢、趣味の話など郷土に関係あり興味のあるご投稿をお願いします。また、本誌に対するご意見、お問い合わせはどしどし事務局までお寄せ下さい。



78号からカラーグラビア調 創刊60年記念号(H27) 令和4年発行の96号

配布先の拡大

【83号から配布】

末永國紀同志社大学名誉教授
TOWN・TOPICS掲載自治体
近江路探訪掲載関係先

【84号から配布】

全国の滋賀県人会
県下すべての高等学校・中学校・図書館

【85号から配布】

県議会・県下全自治体(1県・13市・6町)
バス旅行訪問先〔資料館・郷土館・歴史観〕

【86号から配布】

県下すべての小学校・市長会事務局
町村会事務局・三方よし研究所会員

【91号から配布】

中井均滋賀県立大学名誉教授と共著者
浅岡勝義〔昭和30年代湖国暮らしの表情〕

【93号から配布】

県下すべての国会議員・県議会議員
沖島住民〔近江八幡市…コロナ禍で未配〕

【94号から配布】

川端康成文学館〔佐々木鐵仙の世界〕

【95号から配布】

県下すべての大学・幼稚園・保育園
こども園